



沖縄県、極めて重大な事態に!

大麻 高校生ら12人摘発

6月7日(金)、新聞に高校生による**大麻取締法違反**の記事が出ました。

今回、高校生を含む複数の少年が大麻取締法違反で検挙され、沖縄全体に大きな衝撃が広がっています。大麻は「タバコより安全」「合法化されている国もある」等、様々な情報がありますが、ここでは**大麻や薬物の危険性**を考えてみよう。

大麻等の薬物は一度の使用でも**「乱用」**です!

大麻薬物依存の入り口
大麻には依存性があり、乱用を続けると**幻覚**や**記憶障害**がおきます。また、他の薬物への入り口として**「ゲートドラッグ」**とされています。

特に未成年者は刺激に敏感なため**依存症**になりやすく、大麻からより強い薬物を求めるようになり、ついには心身をこわすこととなります。

今回の大麻所持で検挙された少年らは、大麻使用の理由を**「好奇心」**とっています。

大麻等の薬物は、一度でも乱用すると自分の意志ではやめることができなくなります。

単なる**「好奇心」**で一生、**薬物に捕らわれ、逃れられず苦しむ**こともあります。

使用「単なる好奇心」

《 大麻Q&A 》

Q1 タバコより安全?

A1 タバコは脳へダメージを与えませんが、大麻は**大きなダメージ**を与えます。しかも**一生治りません**。

Q2 合法化されている国は?

A2 「合法化=安全」では**ありません**。違法にすると、隠れてもっと広がるため、合法化して管理する目的があります。それぐらい広がっているのです。

「人生が壊れる」

薬物乱用は自分の人生を破壊します。いや、自分だけではありません。

薬物乱用は、あなたが(あなたを)

- ・愛する人を悲しませる ... 薬物を乱用して警察に逮捕されたら、家族や恋人が**悲しみます**。
- ・愛する人を傷つける ... 薬物を買うために家族や恋人から**お金を奪ったり、暴力をふるう**こともあります。
- ・愛する人が離れていく ... 薬物依存症になると家族や恋人が**逃げていく**かも知れません。
- ・愛する人が ... 薬物依存が進むと、**脳が破壊**され周囲の人が誰なのか、家族や恋人でさえも**分からなくなる**ことがあります。

『 薬物乱用防止は正しい理解から!! 』

薬物乱用を防止するためには、その恐さと悪影響について正しい理解が必要です。ネットやSNSにあるあやふやな情報よりも、次のサイトを見て、正しい情報を身につけよう!

- ① 厚生労働省「今、大麻が危ない!」
- ② 警察庁「薬物乱用のない社会を」
- ③ 内閣府「〈マンガ〉たった一度の過ち」



沖縄は、海が光り、山は緑と珍しい生物にあふれ、歴史と文化、音楽と踊り、美味しい料理が、そこに生きる人々を楽しい笑顔にする! そんな島に、そして沖縄に生きる皆さんに、**薬物が必要ですか?**

そろそろ夏休み！楽しむことはいいけれど、

「深夜はいかい」は、しない！



**重大事件・事故のほとんどが「深夜」に起こってる！
「深夜はいかい」には、いろんな危険が潜んでる！**

事例紹介「とある事件」より（「2017 ちゅらマナーハンドブック」より）

平成27年、中学1年の男女が殺害されるという痛ましい事件が発生した。
2人は度々、「深夜はいかい」を繰り返していた。
午後9時30分頃コンビニで男性2人が中学生男女を目撃。
午前1時前、中学男子から友人にLINE電話。
午前1時30分頃、商店街の防犯カメラに中学生2人が映る。
午前5時10分頃、商店街の防犯カメラに再び中学生2人が映る。
その後、中学生男女2人は殺害され、遺体で発見される。

無断外泊×

深夜の車両使用×

**カラオケ・ボーリング場等
深夜の立ち入り×**

家に居れば、夜ふかしもOK？

早寝・早起きを実行する！



**深夜のネットゲームやLINEは、体に悪い影響あり！
リズムを崩し、休みあけの学校がつらくなる！
休みにネットトラブルがあると、学校が始まっても、いきづらくなる原因になることもあります！**

「ネット被害防止チェックシート（一部）」（「2015 ちゅらマナーハンドブック」より）

ネット依存

1日2時間以上携帯・スマホを使用する

常に手元にスマホがないと不安になる

ネットいじめ

SNS上で軽はずみに言葉を発してしまう

SNSに他人の個人情報（写真・動画等含む）を載せたことがある



**こまったときは、「相談」する！
学校や警察以外でも「相談」するところはある！**

主な相談機関：子ども若者みらい相談プラザ「sorae」 098-943-5335

24時間子供SOSダイヤル 0570-0-78310

等

『夏季休暇に向けた事件・事故の未然防止について』

薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』

6月6日(木)、県警察からの「高校生を含む複数の少年が大麻取締法違反で検挙」という発表に、非常に驚かれたことと思います。学校においては薬物乱用防止教育の徹底を推進していきますが、これから夏休みを迎えます。ご家庭においても下記を参考に、生徒と一緒に薬物乱用防止について考えてみて下さい。※薬物は一度の使用でも「乱用」となります。

- 1 薬物はスマホやパソコンを使って、ネットから簡単に入手できます。
- 2 薬物乱用の低年齢化が進み、10代の検挙者が急増しています。
- 3 若年検挙者の多くが「好奇心」で大麻を乱用しています。
- 4 医師の薬や市販薬の大量摂取がきっかけで、薬物依存になることも。

《子どもを薬物乱用から守るチェックポイント》□にチェックがいたら要注意！

- 帰宅が遅くなることが多くなった 理由の分からないお金を欲しがるようになった
食事を家族と一緒に食べなくなった 目を合わせて会話をしなくなった

「深夜はいかい」は、様々な問題行動の入口！

飲酒

喫煙

交通事故

性被害

薬物乱用

家出

●「家～なれ～運動」実施中！

- 沖縄県では、「家～なれ～運動」を推進しています。家庭でのしつけや習慣が、外に出たときのかがみになるよう「や～なれ～る ふかなれ～」を実践していきましょう。
- 「基本的な生活習慣を身につけましょう」
- 「家族のコミュニケーションを大切に」
- 「家族のルールを話し合おう」
- 「家庭学習の習慣を、家庭を学びの環境に！」

●在宅確認と酒類の管理を！

- 夜間における子どもの在宅確認をお願いいたします。
- 子どもの集団飲酒は、家庭にある酒類の持ち出しが目立ちます。(自宅にある酒類の管理徹底を！)
- キャンプや宿泊を伴う野外活動や海水浴等は、必ず保護者等による協力のもとで行って下さい。

ネットやスマホ等のトラブルが増加！自撮被害も！

※「自撮り被害」とは、だまされたり、脅されたりして児童生徒が自分の裸体等の写真を、メール等で送られる被害のことをいいます。

●子どもをネット被害から守るための、保護者ができる3つのポイント

- ① 適切にインターネットを利用させる。
- ② 子どもに持たせる機器には、フィルタリングを設定する。
- ③ 家庭のルールを子どもと一緒に作る。

主な相談機関

親子電話相談「子育てダイヤル・子ども相談」 098-869-8753
性犯罪被害者相談電話 #8103 または、098-868-0110
各市町村児童家庭相談

等